

三菱UFJフィナンシャル・グループ  
**MUFG**通信

第9期第1四半期(平成25年4月1日~平成25年6月30日)



Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。



MUFG

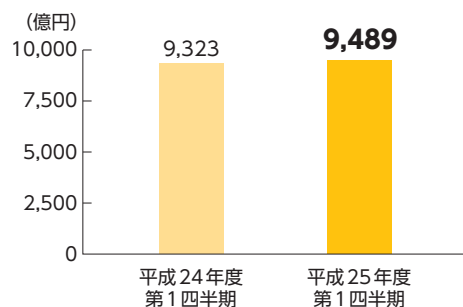
証券コード：8306

# 平成25年度第1四半期の業績

## ✓ 決算のポイント

- 連結四半期純利益は、前年同期比723億円増加の2,552億円
- 貸出金は、前年度末比1.5兆円増加。預金は、2.3兆円増加
- 普通株式等Tier1比率は、11.75%

### 連結業務粗利益



資金利益は、円安の影響もあり海外貸出が伸びたことなどから、前年同期比225億円増加しました。役員取引等利益は、570億円増加しました。株式市場の活況を受けて投資信託など運用商品の販売が好調だったことに加え、海外における貸出関連手数料が順調に拡大したことによるものです。特定取引利益・その他業務利益は、660億円の減少となりましたが、前期に多額の収益を計上した国債等債券関係損益を除くと、834億円の増加となっています。

## ■ 損益の状況 (連結)

● 連結業務粗利益 (信託勘定償却前)	
資金利益	
信託報酬+役員取引等利益	
特定取引利益+その他業務利益	
うち国債等債券関係損益	
営業費 (△)	
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
与信関係費用総額 (△は費用)	
株式等関係損益	
持分法による投資損益	
その他の臨時損益	
経常利益	
特別損益	
法人税等合計	
少数株主利益 (△)	
連結四半期純利益	

(単位：億円)

平成24年度第1四半期 (平成24年4月～6月)	平成25年度第1四半期 (平成25年4月～6月)
9,323	9,489
4,187	4,413
2,356	2,957
2,779	2,118
2,170	675
5,180	5,665
4,142	3,823
△ 148	△ 154
△ 545	128
101	396
△ 142	12
3,407	4,206
△ 230	△ 268
△ 1,031	△ 954
316	430
1,829	2,552

### 営業費

海外業務等の収益増強施策への積極的な資源配分や証券子会社の業容拡大、円安の影響などから、前年同期比485億円増加しました。

### 与信関係費用総額\*

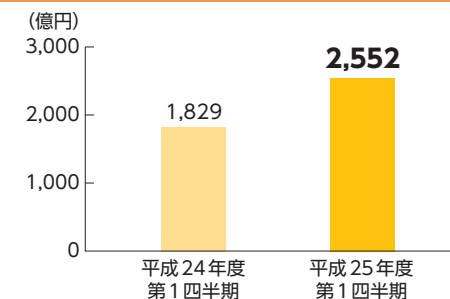
前年同期並みの154億円と、引き続き落ち着いた推移となっています。

\* 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+償却債権取立益+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)

### 株式等関係損益

株式等売却益の増加に加え、株式等償却の減少により、前年同期比673億円改善の128億円の利益となりました。

### 連結四半期純利益

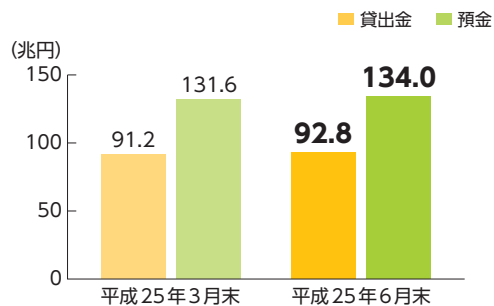


上記に加え、モルガン・スタンレー関連収益の伸張による持分法投資損益の増加や、退職給付費用の改善を主因としたその他の臨時損益の改善などにより、前年同期比723億円増加の2,552億円となりました。通期業績目標7,600億円に対する進捗率は33.5%と順調なスタートとなりました。

(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

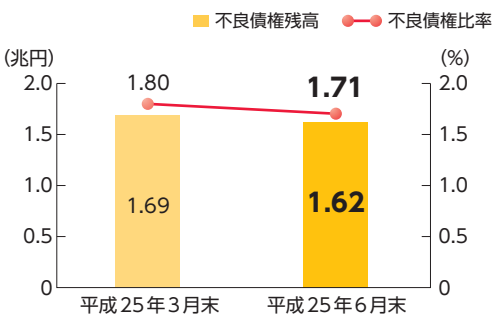
# 平成25年度第1四半期の業績

## 貸出金・預金



貸出金残高は、国内法人貸出や住宅ローンは減少したものの、海外貸出が1.6兆円増加したことから、前年度末比で1.5兆円増加しました。  
預金は、国内法人は1.1兆円減少したものの、個人が1.1兆円、海外が2.3兆円増加したことから、2.3兆円増加しました。

## 不良債権残高・比率\*



不良債権比率は、1.71%と引き続き低水準を維持しています。

\* 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行合算+信託勘定

## 資産・負債の状況(連結)

資産の部合計	2,344,987	2,340,817
貸出金(銀行勘定)	912,995	928,880
有価証券	795,268	710,709
うち国債	487,079	402,799
負債の部合計	2,209,790	2,203,994
預金	1,316,970	1,340,286
純資産の部合計	135,196	136,822

## 不良債権の状況

不良債権(金融再生法開示債権)	16,968	16,294
不良債権比率	1.80%	1.71%

## 有価証券評価損益の状況(連結)

その他有価証券評価損益	18,851	15,169
-------------	--------	--------

## 自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率	11.70%	11.75%
Tier1比率	12.74%	13.02%
総自己資本比率	16.68%	16.69%
リスク・アセット	879,686	899,856

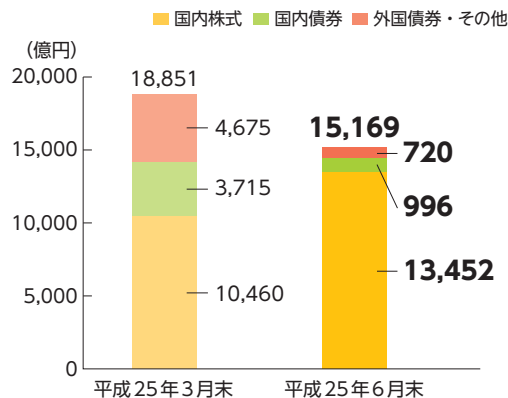
(単位：億円)

	平成25年3月末	平成25年6月末
資産の部合計	2,344,987	2,340,817
貸出金(銀行勘定)	912,995	928,880
有価証券	795,268	710,709
うち国債	487,079	402,799
負債の部合計	2,209,790	2,203,994
預金	1,316,970	1,340,286
純資産の部合計	135,196	136,822
不良債権(金融再生法開示債権)	16,968	16,294
不良債権比率	1.80%	1.71%
その他有価証券評価損益	18,851	15,169
普通株式等Tier1比率	11.70%	11.75%
Tier1比率	12.74%	13.02%
総自己資本比率	16.68%	16.69%
リスク・アセット	879,686	899,856

## 国債

前年度末比8.4兆円減少しました。日本銀行の量的・質的金融緩和に対応すべく積極的に国債買入オペに応じたためです。今後も国債の安定保有を原則としつつ、金利リスクを適切に管理します。

## 有価証券の含み損益



株式相場の上昇により国内株式の評価損益が前年度末比2,991億円増加したものの、市場金利の上昇により日本国債および外国債券の評価損益が悪化し、3,681億円減少しました。

## 自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率\*は11.75%と、十分な水準を確保しています。

\* 普通株式等Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金)÷リスク・アセット

# クローズアップMUFG

MUFGグループは、さまざまな金融分野に有力なグループ会社を有する総合金融グループです。「クローズアップMUFG」では、こうしたグループ会社をシリーズでご紹介します。第四回は、三菱UFJ不動産販売です。

## ■三菱UFJ不動産販売

### Q. 会社概要・特長について教えてください。

**A.** 三菱UFJ不動産販売は、戸建住宅・マンションから投資・事業用不動産に至るまで、お客さまの不動産の「買いたい」「売りたい」をおつなぎする、不動産仲介会社です。昭和62年に、信託銀行の不動産部門から独立して創業しました。

MUFGグループの総合力やノウハウを活かしたコンサルティング、情報提供に強みを持っています。それらの強みを活かして業容を拡大し、平成24年度の取扱高は約3,500億円、仲介件数は約5,500件と、不動産仲介大手の一角を占めています。

店舗は、首都圏・名古屋・関西に41拠点を展開しています。主要都市圏に広がるネットワークを活かして、豊富な情報を提供しています。

### Q. 不動産の売買を検討しているのですが、わからないことが多いです。

**A.** お気軽に、お近くの店舗の営業スタッフにご相談ください。豊富な知識と経験をもとに、丁寧にご対応いたします。また、居住用不動産・事業用不動産の売買仲介から資産形成まで、お客さまのさまざまなご希望・ご要望に応じた質の高い提案もいたします。

ホームページにも、不動産売買や住み替えのポイント、税制のポイントなどを掲載しており、ご希望の方にはより詳しい内容のガイドブックをプレゼントしています。ピーターラビットを表紙にあしらった、「住まいの税金まるわかりガイド」「不動産購入・売却お役立ちガイド」「相続税・贈与税まるわかりガイド」をご用意しておりますので、ホームページからご請求ください。



### Q. ホームページについて詳しく教えてください。

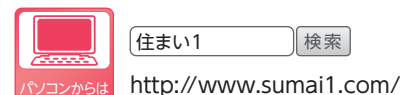
**A.** 三菱UFJ不動産販売では、独自の不動産検索サイト「住まい1」を開設しています。最新の不動産情報を簡単にご検索いただくことができ、掲載されている仲介物件は、約16,800件(平成25年7月現在)にも上ります。スマートフォンや携帯電話にも対応しており、いつでもどこでも物件を検索することが可能です。ホームページ上で会員登録いただいたお客さまへは、希望条件に合う新着物件情報を、メールで配信するサービスもご用意しています。

また、物件情報以外にも、「住まい探しの手引き」「リフォームポイント特集」など、物件をお探しになるにあたってご参考にしていただける、各種の便利な情報も掲載しています。「ここまち!」という特集ページでは、各地のおすすめのお散歩コースや、暮らしに必要な近隣施設のご案内などを取り上げています。不動産のご購入を検討されている方以外でも、楽しめるサイトにしておりますので、ぜひ一度ご覧ください。



## ■企業プロフィール

会社名：三菱UFJ不動産販売株式会社  
本社所在地：東京都千代田区神田神保町2-1 岩波神保町ビル  
電話：0120-713-827(通話料無料) (受付時間 日・祝祭日を除く 10:00~17:00)  
設立日：昭和63年6月14日(昭和62年2月創業)  
従業員数：885名(平成25年6月現在)  
営業拠点数：41  
ホームページ：



### 株主優待サービスのご案内

不動産仲介のご成約時に  
ギフトカード贈呈

詳しくは  
優待パンフレットを  
ご覧ください。▶▶▶



## 1 三菱東京UFJ銀行、 アユタヤ銀行株式の公開買付を発表

平成25年7月、三菱東京UFJ銀行は、タイの大手銀行であるアユタヤ銀行の株式を取得することを発表しました。アユタヤ銀行の過半数以上の持分を取得し、子会社化することを目指します。

タイは、歴史的に日本との関係が深く、多くの日本企業が進出しています。また、メコン川一帯の経済圏において中心的な役割を担うなど、さらなる成長が期待できる国です。アユタヤ銀行は、同国において資産規模第5位と大手の一角を占めており、ローンなど個人向けビジネスに強みを持つ商業銀行です。

三菱東京UFJ銀行はタイにおいて、バンコック支店の開設以来50年以上にわたり、主に企業のお客さまに金融サービスを提供してきました。今後は、両行の強みを最大限に活用することで、総合的な金融サービスを提供し、日系企業から現地の個人に至る幅広いお客さまの多様なニーズにお応えしていきます。



## 2 三菱UFJメリルリンチPB証券、 「ベスト・プライベート・バンク」(日本部門)を受賞

平成25年5月、三菱UFJメリルリンチPB証券は、英国の金融誌「ユーロマネー」の平成25年プライベート・バンキング調査において、「ベスト・プライベート・バンク」(日本部門)を受賞しました。

プライベート・バンキングを専門としている同社では、ファイナンシャル・アドバイザーが資産に細かく目を配り、最適なポートフォリオの構築をお手伝いすることで、お客さまとの間に息の長い信頼関係を築いています。今回の受賞は、お客さまへの対応力や充実した商品ラインアップなどが評価されたものです。

平成24年12月には、MUFGの100%子会社になり、グループ間の連携もますます強化しています。今後ともMUFGのグループ力を最大限に活かしたプライベート・バンキングサービスを提供していきます。



## 3 「東北6次産業化サポート投資事業有限責任組合」設立

平成25年7月、三菱東京UFJ銀行と東北4県の地域金融機関など7法人\*は、農林漁業の6次産業化を支援する地域ファンド「東北6次産業化サポート投資事業有限責任組合」を設立しました。6次産業化とは、1次産業(農林漁業)と2次産業(製造・加工)と3次産業(販売・観光など)を有機的に結びつけることで、新たなビジネスを創造する取り組みをいいます。当ファンドは、MUFGグループの三菱UFJキャピタルがファンド運営を担い、農林漁業の6次産業化に取り組む事業者の方に、出資・経営支援などの支援を行うことを目的としています。

三菱東京UFJ銀行の強固な顧客基盤とグループ総合力を活かすとともに、東北4行のお客さまが持つ地域資源の魅力を最大限引き出すことで、新たな付加価値の創出を支援し、農林漁業の成長産業化に積極的に取り組んでいきます。

\*三菱東京UFJ銀行、三菱UFJキャピタル、青森銀行、秋田銀行、岩手銀行、山形銀行、農林漁業成長産業化支援機構



## 4 三菱UFJ信託銀行、 海外ファンド管理会社の買収合意を発表

平成25年6月、三菱UFJ信託銀行は、バターフィールド・フルクラム・グループと株式譲渡契約を締結しました。同社は、世界6カ国7拠点のネットワークを持つ海外ファンド管理会社で、約10兆円の資産管理残高を有しています。今後、関係当局の認可などを前提として株式の100%を取得し、平成25年中に子会社とする予定です。

ファンド管理業務は、ファンドに組み入れている資産の時価評価や基準価額の算出を行うもので、透明性や情報開示に対する世界的なニーズの高まりを背景に、高い成長が期待されています。

三菱UFJ信託銀行は、同社の優れた業務ノウハウと顧客基盤を活用し、国内外のお客さまの多様化する資産管理ニーズにお応えしていきます。



MUFGグループは、地域・社会の一員として、社会全体の重要課題の解決に貢献したいと考え、行動しています。

今回は、国際交流活動や、東京日本橋での地域貢献活動をご紹介します。Facebookにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。  
(<http://www.facebook.com/MUFG.CSR>)

## 国際交流活動(TOMODACHI MUFG 国際交流プログラム)

### TOMODACHI MUFG 国際交流プログラムとは

MUFGは、震災からの復興支援や日米の相互交流を目的として、米国の非営利団体米日カウンシルが主催する「TOMODACHI イニシアチブ」に参画しています。本プログラムは、その一環として実施しているもので、日米の学生に、お互いの国を訪問して人々と交流し、相互理解を深めてもらうものです。

### 活動内容

平成24年7～8月には、第1回目として、日本の被災地の中高生と教職員合計24名が南カリフォルニアを訪問しました。ホームステイやボランティア活動を通じて現地の人々と交流しました。

平成25年7月には、第2回目として、米国カリフォルニア州の高校生と教職員合計30名が来日し、日本各地を訪問しました。例えば、宮城県気仙沼市大島では、海岸清掃のボランティア活動をしたほか、震災時の話を地元の人から聞くなど、震災への理解を深めました。また、仙台では、ホームステイや学校訪問を通じて、地元の高校生と交流しました。



## MUFGグループの地域貢献活動(第4回)

### 東京日本橋

平成25年7月、三菱東京UFJ銀行の行員およびその家族125名が、東京日本橋の洗浄活動に参加しました。この活動は、名橋「日本橋」保存会が主催するもので、昭和46年から毎年実施されているものです。古くは交通の要所として栄え、現在は国の重要文化財に指定されている日本橋を、後世に引き継いでいくことを目的としています。

当日、参加者はデッキブラシを手に取り、汗だくになりながら作業を進めました。手の届かない日本橋の銘板については消防車のリフトに乗って磨き上げました。その後、散水車の放水によって、汚れを豪快に洗い流し、「交通安全祈願」をして終了しました。

今後も、三菱東京UFJ銀行は、地元の皆さまと一緒にこの活動に参加し、地域へ貢献していきます。



## 平成25年の株主特典コース受付終了のお知らせ

平成24年11月にご案内した平成25年の株主特典コース(ピーターラビット™オリジナルグッズまたは「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」への寄付)の受付は、終了しました。多くの株主さまからご応募いただき、誠にありがとうございました。なお、株主さまのご不在・住所不明などにより当社に返送されたグッズにつきましては、平成25年9月30日までの保管となりますのでご了承のほどお願い申し上げます。

「ご優待クーポン券」は平成25年12月30日までご利用いただけます。詳細は平成24年11月にお送りしました「ご優待サービスご利用ガイド2013」をご確認ください。

お問い合わせ先：MUFG株主倶楽部専用デスク 0120-321-629(通話料無料)  
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00～17:00)

グループメッセージについて

# Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

「Quality for You」は  
「『質』の高いサービスの提供を通じて、  
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の  
『質』の向上をお手伝いしたい。  
そして『You=お客さま』を基点に『You=地域・社会』の  
発展にも貢献していきたい」という  
私たちの姿勢を表しています。  
「確かなクオリティを、明日へ。世界へ。」は  
「いかなる時代にあっても『確かなクオリティ』を  
お届けし、お客さまの成長・歩み・夢を、  
『明日へ』、『世界へ』つなげていきたい」  
という私たちの想いを表しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、  
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。  
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター  
電話:0120-232-711(通話料無料)  
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

平成25年9月発行  
本誌はFSC® 認証紙、植物油インキを使用しています。

